

教科・「科目」	工業・「建築構造」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学	2	建築科選択科目

### 1. 目標と評価規準

目標	建築物の構造及び建築材料に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (15%程度)	建築構造に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。		学習状況等
思考・判断・表現 (15%程度)	建築構造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。		学習状況 小テスト 定期考査等
技能 (30%程度)	建築構造の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。		課題提出状況 定期考査等
知識・理解 (40%程度)	建築構造の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。		課題提出状況 定期考査等
使用教材等	建築構造(実教出版)、図説建築資料集(実教出版)		

### 2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	木構造 ・外部仕上げ ・内部仕上げ ・木造枠組壁工法	目的に応じた仕上げ材を合理的に用いる方法について学ぶ。 安全で快適な室内環境とするための仕上げや納まりについて学ぶ。 木造枠組壁工法の特徴、構成について学ぶ。	電子黒板に資料を提示
	5			
	6			
2 学期	7	鉄筋コンクリート構造 ・構造の特徴と構造形式 ・鉄筋 ・コンクリート ・基礎 ・躯体 ・仕上げ ・壁式構造 ・プレストレストコンクリート構造	鉄筋コンクリート構造の各部の名称及び各部の構成と機能について取り扱い、鉄筋コンクリート構造に関する知識と技術を習得する。  ①各部の名称 鉄筋コンクリート構造の各部の名称について、模型や参考図、ICT機器を活用し、現場見学、現場実習などを通して具体的に理解する。  ②各部の構成と機能 性能規定に配慮し、鉄筋コンクリート構造の各部の構成とその機能について理解し、各部の構造を図示できるようになる。	
	9			
	10			
	11			
3 学期	12	鋼構造 ・構造の特徴と構造形式 ・鋼と鋼材 ・鋼材の接合 ・基礎 ・骨組 ・仕上げ ・軽量鋼構造と鋼管構造 ・鉄骨鉄筋コンクリート構造	鋼構造の各部の名称及び各部の構成と機能について取り扱い、鋼構造に関する知識と技術を習得する。  ①各部の名称 鋼構造の各部の名称について、模型や参考図、ICT機器を活用し、現場見学、現場実習などを通して具体的に理解する。  ②各部の構成と機能 性能規定に配慮し、鋼構造の各部の構成とその機能について理解し、各部の構造を図示できるようになる。	
	1			
	2			
	3			

備考	
----	--